

様式第7 - 3 (一体評価すべき借地権等が存する場合で、残借地補償を伴う場合)
 [様式第7 - 2以外の場合]

残地補償・残借地補償額算出表

1 土地評価の単位

所在地	公簿地目	現況地目	買収面積	残地面積

1 土地の所有者ごとに、当該様式を作成する。

2 残地の価値減価格の算定

標準地価格		円/m ²		価格時点	年 月 日
路線価等の権利割合		土地所有者	%		権利者
権利割合の根拠		路線価		その他	
取得に係る画地	底地評価価格	標準地価格	当該土地の格差率	路線価等の権利割合	底地評価価格(A)
		円/m ² ×	— 100	× — 100	= 円/m ²
	借地権評価価格	標準地価格	一体評価による格差率	路線価等の権利割合	借地権評価価格(B)
		円/m ² ×	— 100	× — 100	= 円/m ²
	一体評価価格	底地評価価格(A)	借地権評価価格(B)		一体評価による評価価格(C) (A + B)
		円/m ² +	円/m ² =		円/m ²
残地	底地評価価格	標準地価格	当該残地の格差率	路線価等の権利割合	底地評価価格(D)
		円/m ² ×	— 100	× — 100	= 円/m ²
	借地権評価価格	標準地価格	一体評価による格差率	路線価等の権利割合	借地権評価価格(E)
		円/m ² ×	— 100	× — 100	= 円/m ²
	一体評価価格	底地評価価格(D)	借地権評価価格(E)		一体評価による評価価格(F) (D + E)
		円/m ² +	円/m ² =		円/m ²
価値減価格	取得に係る画地の一体評価による評価価格	残地の一体評価による評価価格(F)		残地の価値減価格(G) (C-F)	
		円/m ² -	円/m ² =		円/m ²